

「令和7年度デジタルリーダーシップ人材育成事業」企画提案競争 審査基準

審査項目	審査基準	配点
1. 業務に対する理解度及び業務の基本方針	①業務目的を理解し、妥当な成果目標(20名程度)が設定できているか ②効果的かつ実施可能と判断できる基本方針や戦略を持っているか	10
2. 業務に関する具体的な提案		
(1)プログラムの企画・有効性	①業務目的を深く理解し、本質を捉えたプログラム設計となっているか。 ②「体験 → 内省 → 実行計画策定」のステップが効果的に組み込まれ、参加者が修了後に具体的なアクションを起こせるような実践的な内容か。 ③県内中小企業・小規模事業者の現状、特性、課題を深く理解し、DX未着手企業も含め、企業・人材のレベルやニーズに合致した分かりやすく、かつ実効性のある内容か。 ④成果への接続設計が考えられており、プログラム修了後に、参加企業のDX推進が確実につながるよう設計されているか。 ⑤プログラム修了後のアフターフォロー等、参加企業がDX推進を継続的に取り組める仕組みが具体的に提案されているか。	30
(2)プログラムの運営	①広報・参加者募集・受付体制が効果的に計画されているか。 ②開催時期・開催地・運営方式(対面/オンライン併用時の効果担保)は適切か。	10
(3)既存事業との連携・補完	既存事業との連携・補完関係が明確かつ効果的に提案されているか。	10
(4)追加提案	本仕様書に加えて、本事業の趣旨に合致し、より効果的・実践的な事業実施に繋がる、具体的な創意工夫や追加提案があるか。	10
3. 業務遂行体制	①本業務を円滑に実施できる体制か ②本業務が円滑に実施できるスケジュールか	20
4. 類似業務の実績	適切な業務履行を期待できる受注実績があるか	5
5. 従事者の「仕事と家庭の両立支援」や「女性活躍推進」に関する取組	①しまね子育て応援企業(こころカンパニー)、しまね女性の活躍応援企業のいずれか一つに該当する(3点) ②しまね子育て応援企業(こころカンパニー)、しまね女性の活躍応援企業の両方に該当する(5点) ※コンソーシアムの場合、代表者及び構成員のうち1者の認定及び登録状況を採点の対象とする。	5